

市民のがんばりと力あわせて



検証!「瑞穂の国記念小学院」問題市民集会で、国会報告をする辰巳参院議員=4月8日



真相解明を訴える石川たえ府議(右から2人目)と  
あらい真8区国政対策委員長、豊中市会議員団ら=4月8日

# 森友疑惑 全容解明に全力 日本共産党



辰巳孝太郎参院議員

## 「ゴミは無い」のに「ある」として値引き 「8.2億円」の根拠を根本から崩す

辰巳孝太郎参院議員は3月24日と27日の予算委で、「国は9.9メートルまでゴミ・廃材があり、撤去に8.2億円かかる」として値引きした」と説明しているが「9.9メートルにゴミはない」ことを具体的に明らかにし、国の積算根拠を根本から突き崩しました。

辰巳議員は、森友学園が行った地盤調査報告書の分析を依頼した、国の「産業技術総合研究所」が、「深さ3メートルまでは人工的に埋め立てた埋設土。それより深い部分が天然の堆積物と思われる」と回答し、大阪航空局の2010年の試掘結果も、ゴミが出るのはおおむね3メートルと記載していると追及。政府は、おおむね3メートル以深はゴミがなかったことを認める答弁をしました。



清水忠史衆院議員

## 本来やるべき入札をせず、 国が積算——問題のおおもとを追及

清水忠史衆院議員は3月3日の国土交通委で、疑惑の値引きの根本には、ゴミ撤去費の積算は、本来、入札をして業者に算出させるべきなのに、国が自ら積算していた問題があると指摘。31日には、国がゴミが埋まっていた深さを調査せず、値引きしていたことを追及しました。



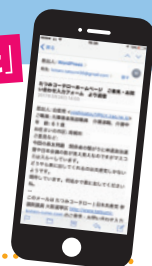
宮本岳志衆院議員

## “8.2億円の値引き額ありき”、 逆算でゴミ撤去費を算出!?

宮本岳志衆院議員は4日の財務金融委で、「杭打ち部分には9.9メートルまでゴミがある」として撤去費を積算。「それ以外のところは3.8メートルまでにしかゴミはない」としている矛盾を質問。国は「3.8メートル以上(深いところにゴミがあるか)については確かめていない」とともに説明できませんでした。宮本氏は「8億2千万円を値引きするため、逆算で撤去費を積算したのでは」と指摘しました。

### 「値引きの根拠、ゴミなかった」

### 解明に 反響続々



辰巳議員の質問を聞き、溜飲がおりた。ネットに出ているデータを少し見たが、絶対に無い。産総研に聞いて、「あるはずない」と引き出した。

(大学の研究者)

通常、杭先端は硬い地盤(=支持層)まで貫入させます。これを支持杭といいます。もし、本当にゴミが存在したならば、その地盤は緩いはず。そんな手順は踏んでいないようなので、支持層(当然ゴミはありません)に貫入したことは明らかです。

(男性/技術士・建設部門)

首相も8.2億円の根拠が論点というのですから、堂々とここを論破して頂きたい。

(男性)

辰巳孝太郎議員へのメールや電話より

## 事実示して 政権ゆさぶる

日本  
共産党

「怪しさ」の演出だけを狙う稚拙な手法ではなく、ファクト(事実)を示して政権を揺さぶる姿勢は、野党のあり方として高く評価されるべきだ。

(「産経」3月3日付)

